



DATA・BOARD 40

- ①神奈川県大和市上草柳字篠山地区内
- ②延長：53m、幅員：2m、支柱間距離：13+27+13m、床版の高さ：4m、橋脚の高さ：11.9m、32mmケーブル16本で支持
- ③木製斜張橋
- ④ベイマツの集成材



大和市では、豊かな自然が残されており、引地川の水源となっている湧水池を含む約四〇ヘクタールの地域を泉の森として保全している。

「緑のかけ橋」は、貴重な緑を未来に残していこうという願いを込めて、泉の森のシンボルとして造られたもので、周辺の自然景観と調和するように、木材を使用した斜張橋を設置した。延長は五十三メートルで、木造の斜張橋は珍しい構造となっている。

橋のある雨水調整池を利用して湿生植物園やホテルの小川、水車などが造られ、周辺景観の創出も図られている。また、春の新緑、初夏のハナシヨウブ・アジサイ、秋の紅葉などの植物が、橋の景観を演出し、四季折々の風情を醸し出し、訪れる市民の目を楽しませてくれる。